

九月末のある日の午後、吉田方面より大月方面に向かつて国道を下ってきた私は、横断歩道を渡ろうとしていた人がいたので停車した。一瞬、以前のことか頭をよぎる。

もう五、六年も前のことなのだが、横断歩道で手を挙げていた小学生がいたので、車を停止させたところ、小学生は反対車線を走ってくる車には目もくれず、走るように横断を始めた。反対車線の車は急ブレーキに近い状態で停止し、事無きを得た。肝を冷やした瞬間であった。

九月のこの日も、いつもなら車の行き来がかなりあるはずなのに、私の前方にも後方にも、車は一台も走っていない。その人は、私の車を通り過ぎてから横断しようと思っていたのかもしれないが、いざにせよ、私の車が停止したので、その人は目の前を横断した。これでは別段、どうと言った話ではないが……。今でも、この時のことを思い出すとすがすがしい気持ちになれる。

それは、この人が横断しながら、私の目の前で、まず一礼し、横断し終わってから、今度はこちらを向いて、更に深々と頭を下げてくれたからである。学年こそ分らないが、体格のいい男子高校生であった。私のそれまで持っていた高校生に対する

イメージが大きく変わった。こんな高校生もいるんだと思うとうれしくなってくる。他を思う温かい心や言葉、言葉はなくても感ずる温かい姿、私はそんな姿の大切さ、心配りの大切さを、二度も頭を下げた男子高校生から、改めて学んだ気がする。

申し訳ないことだが、皆が皆、そうでないことはわかっている。周りを気にせず、携帯電話を操作しながら下を向いて歩いていたり、音楽でも聴きながらなのか、イヤホンを付けて自転車を運転したり歩いたりしている高校生をよく見かけるのだ。その度、事故にでも遭わなければよいがと願っている。

昨今、信じがたいニュースが多い中、気になるものがいくつもある。それは、安全確保をまったく無視した鉄道事故。他人の迷惑など顧みず、学校行事を妨害する犯行予告メール。悪ふざけにもほどがある画像の投稿等。大人のごく一部ではあるが、規範意識の低さやマナーの悪さを痛感する。

多くの人が思っていることであるが、私たち一人ひとり、次代を担う子どもたちの、常に良き手本となる社会の一員でありたいと、これらの事例を耳にするたび、強く願わずにはいられない。



毎月第1日曜日は「家庭の日」  
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。  
青少年育成都留市民会議編集委員

## 連載・青少年健全育成シリーズ 第269回

### 「高校生が教えてくれたこと」

青少年への声かけ・あいさつ運動の推進  
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

## 広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？  
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています  
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合せ先：行政管理課 秘書広報担当

### 広告料金

掲載場所	印刷色	金額/枠	備考
裏面	カラー	20,000	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,000	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月  
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。  
掲載状況につきましては、下記をご参考としてください。  
また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄